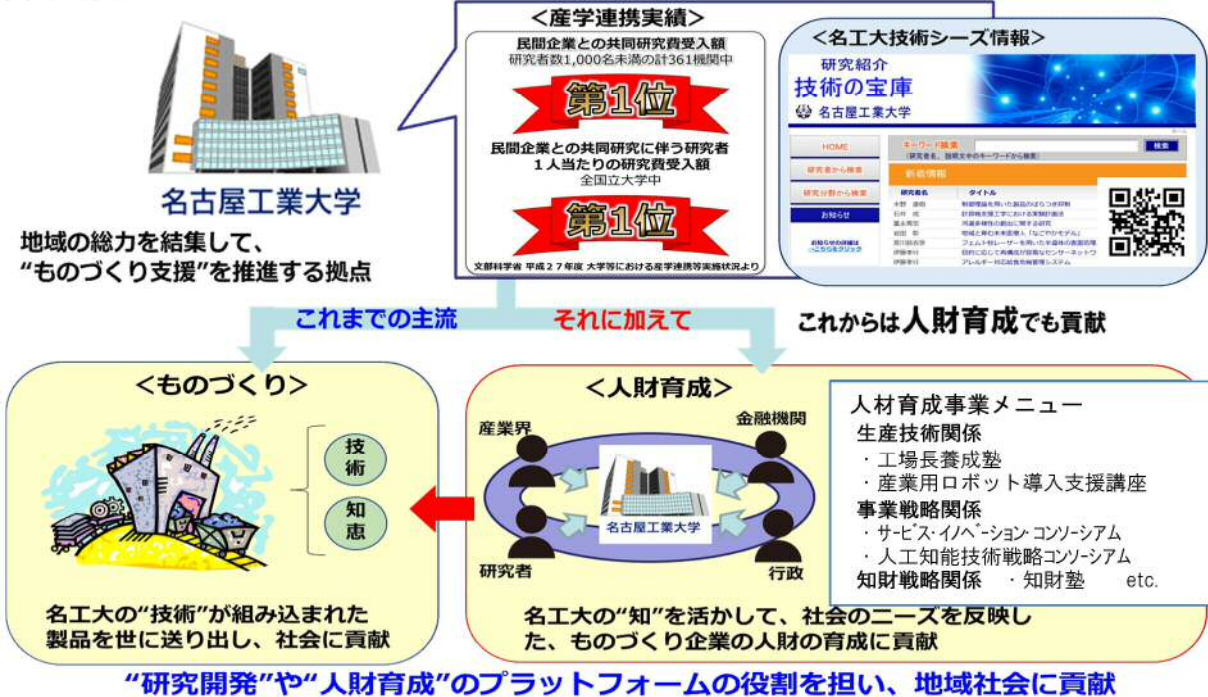


ひとわざ(一技)名: **研究開発や人財育成で”ものづくり支援”を推進**

1. 概要(200字目安)

名古屋工業大学は日本のものづくり・商業の集積地において110余年の歴史を有しており、地域産業の発展に貢献することを使命に教育・研究活動を推進し、産業界とともに成長してきました。
 産学官金連携推進の中核的組織として、産業界との窓口役を担うのが産学官金連携機構です。専門スタッフによる企業等との共同研究の企画・立案や産業界の人財が学んでいただく人財育成講座など、様々な産学官金連携事業を推進しています。諏訪圏企業が有する”超精密技術”と中京圏企業の連携を推進し、新規事業創出に繋げていきます。

写真・図(要点説明)



2. 企業概況

フリガナ	ナゴヤコウギョウダイガク サンガクカンキンレンケイキコウ	フリガナ	キコウチョウ エリュウ オサム
会社名	名古屋工業大学 産学官金連携機構	代表者名	機構長 江龍 修
		フリガナ 窓口担当	カジカワ ヒデチカ 梶川 秀親
事業内容	教育研究期間	URL	https://www.nitech.ac.jp/
主要製品	共同研究、技術相談等による企業支援		
フリガナ	アイチケンナゴヤシヨウワクゴキソチョウ		
住所	〒466-8555 愛知県名古屋市昭和区御器所町		
電話/FAX	052-735-5627	E-mail	c-socc@adm.nitech.ac.jp
資本金(百万円)	—	設立年月	1949年5月
		売上(百万円)	—
		従業員数	—

特記事項(①特許取得・各種認証等取得状況②提供できる価値及び応用分野③医療分野参入(取引)実績 他

- ① 平成29年度より、名古屋市の受託事業として「ロボット・IoT導入専門人材育成事業運営業務委託」を実施している
- ② 事業競争力をつけるためには、次の3つ①研究開発 ②事業戦略 ③知財戦略が必要です
 名古屋工業大学には多くの技術シーズがあり、事業戦略や知財戦略を学べる講座も準備しています。これら名工大の技術・知を活用し、企業の皆様が有する技術の価値化に貢献します
- ③ 年間共同研究件数:300件以上